

飛躍

TOKAI UNIVERSITY TAKANAWADAI JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

HIYAKU

第324号



東海大学附属高輪台高等学校・中等部 学校報

●発行日/2013年9月1日

●発行者/東海大学附属高輪台高等学校・中等部 校長・片桐知己治

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate your thoughts in your early days

若き日に汝の体躯を養え

Nurture your body in your early days

若き日に汝の智能を磨け

Develop your intellect in your early days

若き日に汝の希望を星につなげ Aim your hopes towards the stars in your early days

TOP*NEWS

第45回剛健旅行



さー出発 鳥居峠にて



林道沢付近にて



林道を駆け抜ける高校男子トップ



浅間山をバックに



水はいかが?最後の給水ポイントにて



やった!ゴール到着

第45回 剛健旅行1,304名参加 完歩率98.2%

梅雨が明けた7月11日(木)、生徒たちは仲間とともに嬭恋村で木々が揺れなびく林道を元気よく歩き、遠方に望む浅間山を背景に写真を撮ったり、都心では見ることができないおびただしい数の星の輝きを眺めたりと、想像力や冒険心をかきたてる経験をしてきました。

今年で45回を迎える「剛健旅行」は今までにない素晴らしい青空、星空とともに素敵な思い出を残してくれました。また来年、この景色と再会するのが待ち遠しいと語った生徒のことが印象的でした。

結果発表

高校男子トップ10 (40.0km)	高校女子トップ10 (28.1km)	中部男子トップ10 (16.1km)	中部女子トップ10 (16.1km)
1位 3年 7組 岩田 昂大 (3時間41分)	1位 3年 4組 佐藤 彩加 (2時間34分)	1位 3年 B組 大阿久 歩 (1時間31分)	1位 3年 B組 三須 優香 (1時間58分)
2位 3年 2組 富永 杜音	2位 3年 7組 吉見早友理	2位 3年 A組 掛川 慶大	2位 3年 B組 池田 実樹
3位 2年 3組 大塚 悠希	3位 2年 6組 吉田 瑠菜	3位 2年 A組 野田 翔平	3位 3年 A組 黒木 花菜
4位 3年 4組 馬場 海地	4位 2年 2組 加藤 萌	4位 3年 B組 鈴木 康平	4位 3年 A組 富永悠記子
5位 3年 4組 原 圭之介	5位 2年 1組 石部 愛奈	5位 3年 B組 椎名 汰芽	5位 3年 B組 河口 裕海
6位 3年 6組 渡邊 順也	6位 3年 2組 須田あかり	6位 3年 A組 渡邊 一真	6位 3年 A組 下平 知可
7位 2年 6組 坂口 亮太	7位 3年 3組 沼澤身佳子	7位 3年 A組 中村 将太	7位 3年 A組 上村 京香
8位 2年 1組 笹路 朗	8位 2年 5組 白井明日香	8位 3年 A組 長谷川 颯	8位 3年 B組 小松 雛子
9位 1年 2組 渋谷 雄隆	9位 2年 5組 影山 乃依	9位 2年 B組 河西 俊輔	9位 3年 A組 加藤みなみ
10位 2年 8組 上杉 昂矢	10位 2年 6組 清水麻衣子	10位 2年 A組 山崎拓海	10位 3年 B組 渡邊 春美



感謝

高校女子 第1位
佐藤 彩加

3年4組 川崎市立宮内中学校出身

先日行われた剛健旅行で、目標としていた1位になることができ大変うれしく感じます。本番前にたくさんの方々に応援していただき、その気持ちに応えたいという思いで28キロ進んでいけました。つらい道のりの中を乗り越えていけたのも、期待して下さった方々がいた

からです。自分の気持ちというよりも、まわりの方の思いというのが1位へ導いてくれたように思います。また28キロを怪我なく走り切れたのも、多くの先生方や地域の方々のご配慮があったからです。保護者の方々を作っていた豚汁やおにぎりを食べることも、3年間の思い出となりました。

28キロという長い道のりを走り切ったという自信とともに、多くの方々に支えられているということを実感しました。この素晴らしい行事を伝統として受け継いでいってほしいと思います。応援してくれた方、そして支えてくれた方、本当にありがとうございました。



嬭恋村の由来は「吾嬭者耶」

群馬県嬭恋村長 熊川 栄

伝統ある「第45回剛健旅行」に参加されました東海大学付属高輪台高等学校ならびに中部の皆様、ようこそ嬭恋村にお越しくださいました。心から歓迎申し上げます。さわやかな高原の風を感じながらキャベツ畑やバラギ湖を望むコースを完走されたご気分はいかがだったでしょうか。苦しくても、友達と協力しながら最後まで歩き通した皆様のご健闘に敬意を表するとともに、生徒の皆様の安全確保を第一に運営にご尽力されました片桐校長先生をはじめ関係各位に、心より感謝申し上げます。

さて、このたびが学校側より嬭恋村を紹介させていただくコーナーをいただきました。第1回目となります今回は、嬭恋村の地名の由来について紹介させていただきたいと思います。

私たちの吾妻郡嬭恋村は、日本武尊の伝説から名づけられました。

その昔、尊は天皇の命令により蝦夷征伐のためはるばる東国に下られましたが、相模の海で暴風雨に遭い、その行く手を阻まれてしまいました。その時、尊に従い同船していた妻の弟橘姫は、海神の怒りを鎮めるため怒濤逆巻く海中に身を投げられました。すると、不思議に海は静まりかえり尊は無事に蝦夷どもを攻め従えることができました。

征伐を終えて都へ帰る途中に、群馬県と長野県の県境にある鳥居峠に差し掛かったときには、はるか東南の方を望みみて、亡き弟橘姫をしのび「吾嬭者耶(あづまはや・・・[あ、愛しいわが妻よ])」と三度嘆かれたという故事から、明治22年に「嬭恋村」と名付けられました。

皆様が「剛健旅行」でスタートされた場所がまさに鳥居峠であります。近くには、日頃思っているもなかなか言葉に出して言えない妻への感謝の気持ちを伝える「愛妻の丘」もあります。冬になると、村内4スキー場がオープンし、温泉も豊富です。ぜひ、皆様には再度ご来村くださいますようお願いしております。

夏休みの活動報告

最高の舞台

陸上競技部 村山 航大

3年3組 東海大学付属高輪台高等学校中部出身

このたび全国高等学校総合体育大会(インターハイ)に出場することができ、とても光栄です。私はここまでこれたのは、本当に奇跡だと思いました。都大会で4位、南関東大会でも4位ぎりぎりインターハイに出場しました。出場が決まった時には部員のみんが自分のことのように喜んで祝ってくれて、本当にうれしかったです。この舞台に立つことができたのも、先生方や部員のみんが、保護者の方々などたくさんの応援があったからだと思います。

インターハイではなかなか自分らしいパフォーマンスができず、悔いの残る結果となりましたが、最後まで楽しく競技ができ、高校生活最後で最高の夏の思い出ができたと思います。

まだ全国高校選抜という大会が残っているので、インターハイの経験を生かして頑張りたいです。また、後輩たちにもインターハイの舞台に立ってほしいと思います。今後とも陸上競技部の応援をよろしくお願いいたします。



全国大会に出場して

ダンス部部长 梅澤 昭乃

3年6組 台東区立忍岡中学校出身

今回の大会は私の中で一番とっていいほど大きな思い出です。私は高校からダンスを始めました。同学年の部員の人数が非常に少なく、大会に出場できるなどは夢にも思っていませんでした。しかし、そんな中で後輩の2年生に協力してもらい、こうして大会に出場することができました。1つ上の先輩方が全国優勝を果たしたのを見て、私たちが優勝を目指しチームで協力しながら練習してきましたが、今回は2位という結果になりました。この結果は私だけでは出すことができなかったと今、改めて実感しています。チームメンバーのたくさんの協力や、ダンス部全員のサポート、外部から来ていただいたコーチの御指導、そして何よりも顧問の先生方や家族に助けられてここまで成し遂げることができました。私が部長になっ



てから、たくさんの方々に迷惑しかかかっていませんが、今回の大会ではその人々への感謝の気持ちを込めて踊りました。優勝をすることができ、それが恩返しだと思っていたので残念ですが、精一杯踊りきることができました。私は、今回学んだたくさんの方々のことを今後役に立てたいけるように努力し、そしてこれからは、これまでお世話になった方々に感謝し、ダンス部部长としてできることを精一杯していきたいと思ひます。

最後に私のために大会に出場してくれた2年生、本当にありがとう。この恩は一生忘れません。

関東大会出場

柔道部顧問 宇津 浩

平成25年度第38回関東中学校柔道大会が8月8日(木)～10日(土)に山梨県小瀬スポーツ公園武道館で開催され、本校中部2年生の田谷 紬希菜が女子個人戦57kg級に出場しました。関東大会への出場権をかけた東京都大会で準優勝し、試合内容も良かったため、本人なりに自信を持っての関東大会出場でした。

しかし、試合当日は、朝からかなり緊張した様子うかがえました。初出場であり、まだ中学2年生なので緊張するのも無理ありません。また、初戦の対戦相手は、優勝候補の舟久保選手(富士学苑)でしたので、2年生らしく思い切りの良い試合をしてあげたいと思っていました。試合が始まると、前半は緊張もあり体の動きが硬かったのですが、だんだんと慣れてきて、いつも通りの攻める柔道を見せてくれました。しかし、前半にとられた指導2が響き、惜しくも初戦敗退という結果に終わりました。敗れはしましたが、初めて出場した関東大会で、大規模な大会の雰囲気や強い選手と対戦したことは、本人にとって非常に良い経験になったと思います。この経験を生かして、来年の東京都大会での優勝、そして全国大会への出場を目指して頑張りたいと思います。応援して下さった皆様、本当にありがとうございました。



田谷 紬希菜
2年A組 板橋区立高島第五小学校出身

第5回 中等部体育祭開催

助け合うこと

体育祭実行委員長 鈴木 杏奈
3年A組 横浜市立寺尾小学校出身

最高の思い出になりました!!

3年間体育祭実行委員としてやらせてもらいました。自分はみんなの中心に立ちたいことが苦手でした。しかし、今回体育祭実行委員長になってみて、委員長も楽しいかなと思いました。また、自分だけがやろうと思うのではなく、助け合ったりコミュニケーションを取りながら団旗作成や体育祭の進行をして、より楽しい体育祭を作り上げることができました。

そして、みんなが一致団結をして、一人ひとりが全力を出し、普段はあまり接点のない1年生や2年生ともコミュニケーションを取ることができてよかったです。これからの行事も全力を尽くして頑張りたいです。

初めての選手宣誓

体育祭実行委員 長谷川 颯
3年A組 葛飾区立綾南小学校出身

僕は初めて選手宣誓をしました。小学校の運動会は選手宣誓がなく、この学校に入ってから初めて見ました。なぜ僕が選手宣誓をやったのかというと、島村先生に体育祭実行委員の中からやると言われて僕は今年で中等部体育祭が最後だし、選手宣誓は毎年3年生がやっているの、自分の思い出に残るように選手宣誓をしました。

そして、選手宣誓が決まってから体育祭の当日まで学校、部活動、家などで言葉の暗記をしたり、大きな声で言ったりして完璧にしました。そして、本番では完璧にできなかったけれど、成功はしたので良い思い出になりました。



元氣よく入場行進



2・3年 男子組体操



2・3年女子 ダンス



2年 ボール運びリレー



1年 台風の日



2年 女子箱リレー



1年 玉入れ

中等部最後の体育祭

体育祭実行委員 小川 美衣
3年B組 川崎市立西丸子小学校出身

私たち中学3年生は、3回目最後の体育祭でした。連日、雨が降り続いていたので、今年の体育祭もアリーナでやるのかなと思っていました。しかし、体育祭当日は前日までの雨が嘘のようにすっきり止み、グラウンドで開催することができました。

私は白組だったのですが、結果は負けてしまいました。でも、私たちはもう一つの勝利を勝ち取りました。それは全員リレーで一位を獲れたことです。皆でカバーし合い、一位になった瞬間、感動の涙が出そうになりました。これからもいろいろな行事がありますが、良い思い出になるよう全力で頑張ります。



応援合戦 赤組

中等部最後の体育祭

体育祭実行委員 大阿久 歩
3年B組 大田区立田園調布小学校出身

実行委員3年目の僕は、体育祭も楽しみたいし、係りの仕事もあるしと複雑な心境でした。

体育祭の打ち合わせは何回かしたのですが、広いグラウンドで指示通りに動くのは少し大変でした。少し混乱した時もありましたが、大きなミスがなかったのでよかったです。

今年は赤組優勝でチームとしては負けてしまいましたが、全員リレーで一位になったことは自分の中で大満足でした。

僕には最後にもう一つ仕事がありました。閉会の言葉です。短い言葉でしたが自分の中でとても緊張していました。

いろいろな経験をした体育祭。残りの中学校生活に生かせるよう頑張りたいと思います。



応援合戦 白組

憧れだった応援団長

赤組応援団長 大田原 和史
3年A組 川崎市立大谷戸小学校出身

今回、中等部体育祭の応援団長を務めて一番よかったと思っていることは、赤組の応援団長になったということです。

応援合戦はみんなに赤組の方がまとまりがあってよかったと言われたり、ダンスがうまいと言われたりしてすごくうれしかったです。それは、赤組のみんなが応援団を盛り上げてくれたお陰で、みんなが団結することができた結果だと思いました。みんなで協力してできたことうれしかったです。

自分のクラスでは行進賞も獲れて、団結してみんなで協力すれば、結果もついてくるのがわかりました。

初めてと、感動

白組応援団長 鈴木 康平
3年B組 大田区立小池小学校出身

僕はこの中等部最後の体育祭で、いろいろな体験をすることができました。それは、応援団長です。団長としてみんなをまとめることは最後までできなかったけれど、みんな仲が良く、盛り上げてくれたりと助けてもらいました。応援団でない人も手伝ってくれて、すぐく支えられて成功させることができました。

他にも白組としては、勝つことができなかったけれど、全員リレーでは一位を獲ったり、部活動対抗リレーでは陸上競技部として勝つことができ、すごくうれしかったです。負けてしまったけれど、みんなの絆がより一層深まってよかったと思います。

残りの行事も精一杯やって、一つ一つを大切に勝てるようにしていきたいです。

高校1学年だより

6月22日(土)にスポーツ大会が行われ、総合優勝は5組、準優勝が3組と9組の2クラスでした。今月号では、それぞれのクラスの感想を紹介します。

スポーツ大会を終えて

白石 由志

1年5組 品川区立浜川中学校出身

宮原 孝輔

1年5組 さいたま市立柏陽中学校出身

1年生にとって初めてのスポーツ大会で優勝できたことは、本当にうれしい出来事でした。どの競技にもクラスの全員が全力で取り組み、とても白熱した戦いになりました。全員が優勝を目標にして協力していく中で、クラスの仲間たちの間に強い絆が深まってきました。

私たち5組が優勝できた一番の理由は、クラスの仲間たちの助け合いだと思います。クラスメートが試合をしているときは皆で精一杯応援しました。そして、その試合に勝利するとクラスの全員でその喜びを分かち合いました。このようなことの繰り返しが総合優勝という結果につながったのだと思います。今回のこの結果に満足することなく、これから行われるすべての学校行事にクラスの仲間と協力し合い、一致団結して1位を目指して頑張っていきたいと思っています。

3組の団結

浅奥 聖香

1年3組 大田区立大森第八中学校出身

今回のスポーツ大会は、私にとってとても価値のあるものになりました。1年3組は初めから元気だったけれど、男女の間に壁があったように感じました。それに大会が始まる前も盛り上がり欠けていました。しかしスポーツ大会が始まったら、男女が仲良く応援を全力でやり、競技をしている選手の名前を何度も呼んだり、試合前には担任の五十嵐先生を囲んで円陣を作ったり、終わった後にはハイタッチをしたり、皆の仲を深めることができました。結果はどれも惜しく、1位は一つもとれなかったけれど、盛り上がりや応援は3組が1番だったと思います。スポーツ大会を終えて、男女の壁はほとんどなくなり、優勝はできなかったけれども、もっと大切なものを得ることができました。

2位で終わった大会

谷川 諒

1年9組 東海大学付属高輪台高等学校中等部出身

私たち9組は今回のスポーツ大会で2位という結果を残しました。私を含め、みんな2位という結果がうれしいと感じていると同時に、私は悔しい思いもしています。なぜなら、勝てると思ったバレーで優勝できなかったからです。私はバレー部員です。だから同じ部員のいるチームに当たらないかぎり負けることはなく、優勝を狙えると思っていました。本番では私の予想通り決勝戦まで楽に勝ち進むことができました。そして決勝戦は、バレー部員のいない5組だったので楽勝できると思っていました。しかし、結果は負けてしまい、総合でも5組が優勝しました。私は今回の2位という結果に納得はしていますが、次回は1位を目指して頑張りたいと思います。



高校2学年だより

研修旅行 - Unforgettable Journey ①



6月20日(木)から5泊6日で実施された研修旅行では、どのコースの生徒たちも普段の学校生活では体験できないさまざまな活動に挑戦しました。今回から3回に分けてコースの代表生徒たちの感想をご紹介します。

◆ハワイ研修コース

仲谷 武帥

2年8組 埼玉大学教育学部附属中学校出身

今回の研修旅行で感じたことを紹介したいと思います。1日目は飛行機の中で映画をタダで見られることに驚きました。到着すると、HTICでフラダンスやハワイアンミュージックといった現地の文化に触れる貴重な体験をしました。正直、飛行機の中で遅くまではしゃいでいたので、かなりきついスケジュールでした。

2日目午前中は、アリゾナ記念館で日本が加害者であるという立場で戦争の姿を目にしました。日本軍の爆撃で船員を乗せたまま沈没したアリゾナ号からは、真珠湾攻撃から70年以上経った今なお油が漏れ出ており海面を漂っていました。その光景を見て、改めて戦争の愚かさや命の尊さを感じました。午後はダイヤモンドヘッドへハイキングに行きました。舗装されていない道が多く、登るのが大変でしたが、頂上から見る景色はとてもきれいでした。

3日目はシークレットアイランドに行き、海水浴やカヤック、卓球、ビーチバレーなどを楽しみました。

最後の日は、地元の大学生と街に出かけ、英語でのコミュニケーションを楽しみました。英語が意外と通じる体験ができてよかったです。また、文法や単語の重要さもこの旅行を通して実感しました。機会があればまたハワイに行きたいです。



ハワイ研修コース

◆北海道コース

太田 有香

2年3組 大田区立東調布中学校出身

北海道コースは、みんな5分前に集まることができ、気持ち良く出発しました。女満別空港に着いて飛行機を降りたら、そこは東京の3月初めぐらいの気温でした。そんな寒さの中、網走監獄でたくさんのお話を聞きました。

次の日はエゾシカやキタキツネを見ました。知床峠は雪がまだ残っていてとても寒かったです。開陽台で蜂蜜ソフトを食べたりしました。

3日目はカヌー、マウンテンバイク、フィッシングに分かれて自然体験をしました。食後のいい運動になりました。

4日目は旭山動物園でかわいい動物たちを見ることができました。

5日目は小樽で班別自主研修でした。お昼は多くの班が海鮮丼を食べました。最終日の札幌では、ラーメンを食べた人が多くいました。みんなたくさんお土産を買っていました。

いろいろなことがありましたが、この6日間、33人で行動し、多くのことを学ぶことができてよかったです。来年は希望者が少ないため北海道コースがないと聞き残念です。本当に楽しかったので、再来年はまた北海道コースができればいいと思いました。



北海道コース

高校3学年だより

高校生活で最後となるさいたま総合グラウンドでのスポーツ大会。天候が心配されましたが、6月24日(月)当日は曇り空の中、実施されることになりました。日中は天気回復し、照りつける強い日差しにも負けず、白熱した試合を繰り広げた3年生! 見事同率優勝に輝いたクラスの喜びの声を紹介します。

優勝 1組

青沼 哲

3年1組 足立区立東綾瀬中学校出身

我々1組は、前回のスポーツ大会でも優勝することができたので、今回も優勝して連覇を達成するということを目標に挑みました。個別の競技では、男子はソフトボールで見事に優勝し、女子もキックベースで準優勝することができました。しかしフットサルが初戦敗退だったため、総合優勝は厳しいと皆が感じていました。ところが最後の綱引きが始まる前に担任の今井先生から、優勝すれば総合優勝があるぞ、と言われました。その言葉でクラス全員の気持ちが優勝に向けて一つになり、勝ち進んでいったのですが、決勝で2組に負けてしまいました。しかし綱引きで準優勝したお陰で、3組と同点ですが見事に総合優勝と連覇を達成することができました。これからは最後の～、という行事が続きますが、1つ1つの行事に全力で取り組み、良い思い出にできるようにしていきたいと思います。

優勝 3組

金子 真彦

3年3組 川口市立戸塚西中学校出身

スポーツ大会の当日の朝、雨がばらつき天候が心配された中、開会式が始まるとともに晴れ間が見え、スポーツ日和になりました。そんな最高の天候の中、3組は1組と同率で総合優勝することができました。ソフトボール、フットサルはどちらも上位に入り込むことができ、キックベースは1位をとることができました。残念ながら綱引きは初戦敗退ということになってしまいましたが、どの種目も、プレーしているクラスメートはもちろん、暑い中大きな声を出して応援しているクラスメートも、他のクラスに負けたくない皆で一丸となっていたと思います。次回のアリーナでのスポーツ大会でも優勝して二連覇できるよう、クラス全員で頑張りたいです。私はこんなにも最高の仲間と担任の加藤先生に恵まれた3組の一員で本当によかったと思います。残りの高校生活も3組の仲間48人+先生1人とともに充実した日々を過ごして、最後は笑顔で最高の思い出とともに卒業していきたいと思います。



作文コンテスト



中部では作文コンテストが行われました。今年度は、「友だちから学んだこと」という課題に取り組みました。50分間で考えをまとめ、文章にすることは簡単なようで難しいものです。今回グランプリ、準グランプリに選ばれた皆さんは、それぞれの思いを400字という文章の中でしっかりとまとめてくれました。

1年グランプリ

小野 友里有

1年A組 カリタス小学校出身

私が友達から学んだことは、「助け合う気持ち」です。自分からは言い出せない悩み事があったとしたら、友達の「どうしたの。何かあった」の一言が背中を押してくれるのです。誰にも届かないと思っている声。だけど、誰かには、聞こえているかもしれません。

私も悩みをかかえていた時、友達に「何か悩みがあったら、相談にのるよ」と言われました。自分からは、言い出せない悩みを、友達の「相談にのるよ」の一言が、言えるきっかけにしてくれました。

確かに周りの人からは、「自分から言えるでしょ」と思うかもしれませんが、それに思っているだけじゃ伝わらないかもしれません。けれど、友達が悩んでいる、困っている心の声を自分が聞き入れて、悩んでいる人の相談相手になることも「助け合う気持ち」だと思います。今度は自分が助けたいと思います。「友情のバトン」を誰かに渡したいと思いました。

2年グランプリ

及部 楓華

2年B組 大西学園小学校出身

私が友達から学んだことは、「優しさ」がどれだけ大切かということです。

悲しかった時やうれしかった時、いつもそばにいてくれたのは友達でした。時にはけんかをしたり、上手いかなかったりすることもあるけれど、そういう時に「私はこの子と友達でいたいのだな」と改めて実感します。友達は、一緒に喜んだり楽しんだり、時には悲しんだりできる、自分にとって大切な存在なのだと思います。そんな友達から学んだことが数多くありますが、その中でも、「優しさ」が大きいと思います。優しさがあるから喜び合えて、優しさがあるから一緒に楽しめて、優しさがあるから一緒に悲しめるのです。友達は、「優しさ」なしには、笑っていけない関係なのだと思います。それと同時に、人が楽しく生きていくのに、欠かせない存在が友達なのかなと思います。だから私は、「優しさ」と、それを教えてくれた友達を大事にしたいと思います。

3年グランプリ

春木 麻甫

3年A組 聖徳大学付属小学校出身

私の友達に、友達なんていないと言っていた人がいました。理由を聞いてみると、仲良くなる必要がないと言われました。

私はけっこう友達もいて、学校でも毎日楽しく友達としゃべったりしています。小学校の頃仲良かった友達に、よく転校して海外に行って勉強していた子がいました。その子にも、やっぱり友達なんていないと言っていた友達がいたそうです。でもその子は、友達なんていないと言った友達と、とても仲良くなれた話をしてくれました。世界中で友達になれない人はいないけれど、友達にならない人はいます。人生の中で、誰でもいいから知らない人としゃべると、いろいろな世界が見えます。このことを知った私は、しゃべらないとまわりの世界が見えないので、自己中心的な世界しか見えなくなってしまうと思いました。だから私は、新しい友達を増やしていけば、友達の輪はもっと自分の中で広がると思うし、人のことを考えられる人になれると思います。

準グランプリ受賞者

1年B組	江波戸 優真	品川区立三木小学校出身
2年A組	ミュウラクリスティン 海	品川区立城南小学校出身
3年B組	小野 将寛	お茶の水女子大学付属小学校出身



後列左から：江波戸君・ミュウラ君・小野君
前列左から：小野さん・及部さん・春木さん

高輪カップ(卓球)・高輪ウィンドフェスティバル(吹奏楽)開催

男子卓球の部

優勝	荒川区立尾久八幡中学校
準優勝	江東区立深川第七中学校
3位	清明学園中等部

参加校 16校

葛飾区立亀有中学校	大田区立大森第八中学校	江戸川区立二之江中学校
足立区立第五中学校	練馬区立石神井南中学校	埼玉県松伏町立松伏中学校
足立区立第十四中学校	練馬区立田柄中学校	千葉県船橋市立二宮中学校
荒川区立尾久八幡中学校	世田谷区立砦中学校	清明学園中等部
江東区立深川第七中学校	板橋区立加賀中学校	東海大学付属高輪台高等学校中等部
大田区立南六郷中学校		

女子卓球の部

優勝	江東区立深川第七中学校
準優勝	江戸川区立二之江中学校
3位	練馬区立石神井南中学校

参加校 7校(8チーム)

江東区立深川第七中学校	板橋区立加賀中学校
大田区立南六郷中学校	埼玉県越谷市立西中学校
練馬区立石神井南中学校	千葉県船橋市立二宮中学校
江戸川区立二之江中学校	(東海大学付属高輪台高等学校)

顧問 細田 功



男子優勝 尾久八幡中学校



女子優勝 深川第七中学校



高輪台中等部



熱戦の様子

第8回高輪カップ[卓球の部]が7月14日(日)、本校アリーナにおいて行われました。高校卓球部に所属している部員の母校を中心に、男子16校、女子7校が集まり熱戦が繰り広げられました。試合は、男女とも4チームによる予選リーグを行い、午後からは各ブロックの1・2位校、3・4位校によるトーナメント形式の試合が行われました。男子決勝では、昨年度に続き全国大会出場経験をもつ尾久八幡中学校が深川第七中学校を接戦の末、3対1で下し2年連続の優勝となりました。女子は、深川第七中学校と二之江中学校の決勝となりましたが、午前のリーグ戦では0対3で二之江中学校に敗れた深川第七中学校が、決勝では3対2で二之江中学校を破り第1回大会に続き2度目の優勝を果たしました。

本校中等部男子は、残念ながら予選リーグ4位となってしまいました。午後からの3・4位トーナメントでは初戦、加賀中学校に3対1で勝利し、2回戦、石神井南中学校に0対3で惜しくも敗れてしまいました。しかし、技術力やチーム力では昨年以上に大きく成長した姿を見ることができました。

今大会が、各校顧問の先生方ならびに多くの方々のご協力により、無事終了できたことを心より感謝申し上げます。

吹奏楽の部

参加校 48校

大田区立雪谷中学校
世田谷区立尾山台中学校
墨田区立本所中学校
横浜市立緑が丘中学校
町田市立つくし野中学校
横浜市立上の宮中学校
川崎市立野川中学校
さいたま市立原山中学校

横浜市立南瀬谷中学校
横浜市立みたま台中学校
川口市立十二月田中学校
横浜市立菅田中学校
町田市立木曾中学校
川崎市立平間中学校
八王子市立ひよどり山中学校
横浜市立中川西中学校
川口市立神根中学校
市川市立第八中学校
川崎市立東橋中学校

横浜市立中和田中学校
川口市立領家中学校
横浜市立金沢中学校
習志野市立第七中学校
品川区立富士見台中学校
渋谷区立広尾中学校
瑞穂町立瑞穂中学校
江戸川区立東葛西中学校
横須賀市立大矢部中学校
川崎市立南河原中学校
習志野市立第四中学校

横浜市立田奈中学校
横浜市立南希望が丘中学校
朝霞市立朝霞第二中学校
川崎市立有馬中学校
横浜市立深谷中学校
市川市立妙典中学校
千葉市立蘇我中学校
横浜市立中田中学校
多摩市立落合中学校
蕨市立東中学校
板橋区立板橋第一中学校

足立区立第十三中学校
川口市立北中学校
足立区立洲江中学校
板橋区立志村第四中学校
品川区立小中一貫校日野学園
東海大学付属相模高等学校中等部
東海大学付属高輪台高等学校中等部

顧問 畠田 貴生



第5回高輪ウィンドフェスティバルが7月20日(土)に、昨年を大きく上回る48校の中学校吹奏楽部の参加により、本校アリーナにて開催されました。演奏者3,102人、保護者の皆様をはじめとする観客の方が2,000人を超え、満員のアリーナで熱気に満ちた演奏が繰り広げられました。5人の講評員の先生方に今後の演奏活動へのアドバイスをいただき、目前に迫った吹奏楽コンクールへの練習に役立てようとしている中学生の姿が印象的でした。フェスティバルの最後には、本校吹奏楽部のスペシャルコンサートを楽しんでいただき、終演を迎えました。顧問の先生方から第6回の開催を望む声が寄せられ、すっかり定着した感がある素晴らしいイベントとなりました。

2013年度学校運営方針

6月号・7月号で本校の重点目標をご紹介してきました。9月号では、残りの3つをご紹介いたします。

2013年度の重点目標 PART.3

7 キャリア教育を推進する

今年度、本校は兄弟校の相模高校とともに、学園のキャリア教育推進モデル校になりました。大学との連携を図りながら、キャリア教育を構築したいと考えています。現在、隣の高輪キャンパスとも数回話し合いを行っています。

8 アクティブボードのさらなる有効利用と、ICT教育を推進する

全教室には、アクティブボードが設置されています。この教育機器を活用し、本当に生徒のためになる有効利用とは何かを研究しています。

また、本校では、現在ICT(インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー=情報通信技術)を使った教育について、生徒個々がコンピュータを自在に扱い、双方向の授業展開ができないかを検討しています。

9 中等部・高校・大学10年間の一貫教育を充実させる

中等部・高校・大学の10年間を通して学習面・生活面など、教職員が一丸となって指導していきます。教務部・生徒指導部・研究部や教科、部活動が互いに協力し合い、教育の内容を確認しながら、教育活動を推し進めていきます。

一貫教育の主な特色

1. 特色ある授業

- ・建学の精神を柱とした教育理念
- ・教育改革
- ・英語教育(ネイティブスピーカーの充実)
- ・授業評価アンケートとベストティーチャー制

2. 進路指導

- ・付属推薦(特別奨励・特別技能推薦・特別学力・内部推薦)
- ・科目等履修生
- ・訪問授業
- ・eラーニング
- ・大学、短大進学説明会

3. 学校行事

- ・剛健旅行
- ・建学祭
- ・中高合同体育祭

4. 学園行事

- ・学園オリンピック(国語・数学・理科・英語・造形・音楽・知財・ディベート)
- ・学園オリンピックスポーツ部門
- ・ヨーロッパ研修旅行等

SSH活動報告

高校1年生では、サイエンス基礎の講座、リベラルサイエンスが開講されました。科学技術の先端領域をテーマにしたユニット学習をする講座で、第1弾は「環境」をテーマに5月30日、6月1日、6月6日の全3回が実施されました。第1回目は宇宙航空研究開発機構(JAXA)から更江渉先生をお招きし、宇宙環境・ロケット開発に関する講義・実験をしていただきました。

高校3年生では、6月25日の科学倫理において、「科学と生命」をテーマに埼玉医科大学総合医療センターから胚培養士の宇津木希栄先生をお招きし、妊娠や不妊治療について講義をしていただきました。



ロケットの変遷に驚き

筑波宇宙センターに行ってみて

渋澤 昌志

1年9組 清明学園中学校出身

人工衛星やロケットなどの研究開発や開発試験を行っている、宇宙航空研究開発機構(JAXA)筑波宇宙センターの施設見学に参加しました。入り口には、巨大なHⅡ-ロケットが展示されていて、その大きさに驚いたと同時に、こんなに大きい物を宇宙まで飛ばせる現代技術に感動しました。

展示コーナーには、実物大の人工衛星のモデルや日本の歴代ロケットなどがありましたが、私が一番興味をもったのは「こうのとり」です。無人の宇宙船で、食料や衣類、各種実験装置など最大6トンの補給物資を国際宇宙ステーションに送り届け、補給が済むと用途を終えた実験機器や使用後の衣類などを積み込み、大気圏に再突入して燃やします。何とも地味ながらいい仕事をするものだ、応援したくなりました。8月の「こうのとり」4号機の打ち上げを楽しみにしています。

事前に宇宙(惑星、衛星)について勉強していくと、もっと楽しめたかと思いました。

正しい知識を得ること

山本 隼人

3年9組 川崎市立平間中学校出身

私はこの講義を聞いて、考えさせられることがたくさんありました。まずは不妊症についてです。不妊症で悩む夫婦の割合は6組に1組であり、自分も不妊症となる可能性があるということを実感しました。しかし、不妊症となってしまったら絶対に子供ができないというわけではなく、宇津木先生のような胚培養士という方が解決してくれるということを知りました。これを聞いて安心しましたが、その反面、胚培養士という職業が必要とされるほど不妊症が多いということだと思います。

また、将来自分が結婚して、不妊症に悩むことになったらと不安に感じました。胚培養士という職業があるということを知ることができましたが、それでも不安です。講義中に見たDVDでは、不妊症に悩む方が「もっと早くから正しい知識を持っておけばよかった」と言っていました。

私たちは今回の講義で正しい知識を得ることができたのだから、将来不妊症に悩む日が来たとしても、悩む内容を減らすことができると思います。



胚培養士の仕事について

今後の自分について考える

中山 きひろ

3年9組 品川区立荏原第一中学校出身

私は今回の講義を聞いて、不妊に悩んでいる夫婦が6組に1組もいることにとても驚きました。また、自然に妊娠することができなくても、人工授精や体外受精といった不妊治療を受ければ誰でも簡単に妊娠できると思っていました。しかし、不妊治療を行っても妊娠できる確率は低いこと、卵は新しくつくられることはなく、年を重ねるにつれて老化が進んでしまうことなどを初めて知りました。今は不妊症についてあまり実感がわきませんが、自分が不妊症になってもおかしくはないので、きちんとした知識を身に付けておくことが本当に大切であると強く感じました。今回の講義で学んだことを忘れず、今後の自分について考えていきたいと思っています。



不妊症は身近な問題です

TOKAI キャンパスメッセージ

私たちの生活に欠かせない通信ネットワークを支える ～高輪キャンパス・情報通信学部通信ネットワーク工学科～

東海大学情報通信学部(高輪キャンパス)通信ネットワーク工学科助教 宇津 圭祐

携帯電話・スマートフォン、パーソナルコンピュータ(PC)のような情報機器を誰もが持てるような時代になりました。これらをつなぐ役割を担っているのが、インターネットをはじめとする「通信ネットワーク」で、今や電気や水道のような私たちの生活に欠かせないインフラ(社会基盤)となっています。本学科では、通信ネットワークを作り管理するネットワーク技術者を主に、情報通信技術(ICT)の分野で幅広く活躍できる人材を社会に送り出しています。

本学科では主に、通信ネットワークやコンピュータに関する知識、プログラミング技術やアプリケーション開発、暗号・認証技術、情報・ネットワークセキュリティ等、多くの科目を取り扱って

ます。特にICTは進歩が著しく、年ごとに流行や常識が変化していく分野です。さらにマーケットは我が国の中で完結するものではなく、世界が舞台です。つまり、単に学問的な「知識」を身に付けるだけではなく、世界の変化・進歩に適応するための「言語力」や「コミュニケーション力」、「発想力」「応用力」も欠かせないものとなっています。この能力を身に付けるため、従来の講義形式の授業だけでなく、実際のPCやネットワーク装置を用いた実習主体の講義、あるいは少人数でのゼミナール

が数多く行われているのも本学科の特徴です。また、教員と学生の距離も近く、必要な時にアドバイスを受けられ、学生が自ら意欲的に学習や研究に取り組めるムードになっています。



森田研究室でのスマートフォンアプリの開発の様子

充実した大学生活

東海大学情報通信学部通信ネットワーク工学科3年(高輪台高校2010年3月卒業) 眞中 絢美

私は高校3年間吹奏楽部に所属し、日々活動に励んでいました。正直な話、当時は自分の進路についてあまり考えていませんでした。そんな私は漠然とはありますが、情報系の分野に興味を持っていました。迷いに迷った末に情報通信学部通信ネットワーク工学科に決めました。

近年、携帯電話やパソコン、ゲーム機などにも通信機能を搭載した機器が当たり前になりました。これらの機器やサービスは現在の生活になくはならないものとなりました。このように人が生活しやすいように発展を続ける世の中ですが、悲しいことにネットワークによる犯罪も増えているのが現状です。そのような犯罪から、自身や他人を守る方

法や、通信の仕組み等を学ぶことができると私たちの学科の特徴です。私は「通信」という言葉に興味を惹かれました。通信の仕組みや、セキュリティ等の通信ネットワークに関することを学んでみたいという漠然とした思いがありました。現在私はまだ3年次ですので、4年次の研究に向けてさらに知識を身に付けたいと思っています。

学業以外にも、サークル活動や短期海外留学などさまざまなことを経験し、より自分の可能性や視野を広げることができました。これらは大学の先生方をはじめ、友人、両

親、また私に関わったすべての皆様のお陰でもあります。周りの方々への感謝の気持ちを忘れずに、自分の将来について考えていきたいと考えています。

皆さんも周りの方々への感謝を忘れずに、高校生活でしかできない経験をたくさんして、素敵な大学生になってください。応援しています。



ジャズサークルでの活動

お知らせ

2013 東海カルチャーセミナー

❖日時:9月28日(土) 9:30~11:50 (9:10受付開始)

❖場所:本校アリーナ

第1部:本校吹奏楽部によるコンサート 指揮:畠田 貴生

第2部:講演会 講師:田中 博通 先生
(東海大学 海洋学部 環境社会学科 教授)

テーマ:「持続可能な社会に向けた再生可能エネルギーの開発」

行事予定

September 9月

October 10月

- 2日(月) 避難訓練 朝礼[正制服着用] 45分短縮授業
- 7日(土) 後援会委員総会
- 8日(日) 中等部受験生・保護者学校説明見学会(3回目)
- 10日(火) 中学校巡回 生徒自宅学習日(中等部・高校)
- 12日(木) 生徒による授業評価アンケート(2回目)
- 16日(月) **敬老の日**
- 17日(火) 前期期末試験(中等部 ~19日、高校 ~20日)
- 20日(金) 中等部写真大会(雨天時午前中授業)
- 21日(土) 中等部水泳実習
- 23日(月) **秋分の日**
- 24日(火) 授業日
- 25日(水) 答案返却 専門医によるカウンセリング
- 26日(木) **生徒自宅学習日**
- 27日(金) **生徒自宅学習日**
- 28日(土) 東海カルチャーセミナー
保護者会(家庭通知表配布)
- 29日(日) 付属高校生のためのオープンキャンパス(高2 湘南キャンパス)
- 30日(月) 授業日(中等部・高1・高3) 振替休日(高2)

- 1日(火) 後期始業式[正制服着用] 45分短縮授業
- 4日(金) 第12回中等部・高校合同体育祭(さいたま総合グラウンド)
雨天時授業日
- 8日(火) 第12回中等部・高校合同体育祭予備日
(10/4体育祭実施・延期の場合は授業日)
- 9日(水) 建学祭開祭式(7時限)
- 10日(木)・11日(金) 建学祭準備日
- 12日(土)・13日(日) 第49回建学祭
- 14日(月) **体育の日**
- 15日(火) 建学祭閉祭式 45分短縮授業
- 16日(水) 振替休日(10/13分)
- 17日(木) 学年集会(中1・高1)
- 21日(月) 教育実習(~11/12)
- 26日(土) SSH成果報告会
- 27日(日) 高校受験生・保護者学校説明見学会(3回目)
- 30日(水) 金曜日の授業
- 31日(木) 生徒会立会演説会

研修旅行(高校2年)



北海道



オーストラリア



ハワイ



沖縄

編集後記

今日から2学期である...一昔前なら、9月1日付け朝刊のコラムの書き出しはこうであった。しかし、学校週5日制や2学期制の導入などに伴いこの日が特別な日ではなくなった。確か、学校週5日制についての文科省のリーフレットには「みんなではぐくむ子どもの未来」というコピーが踊っていたはずである。そして時は流れ、学校は週6日制へ回帰しようとしている。土曜授業復活で「子どもの未来」をはぐくめるのならば家庭も学校も大歓迎なのだが、成否がはっきりするにはまた10年以上の歳月が必要かもしれない。(き)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ:<http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>